

第10回静岡県ものづくり競技大会「総合の部」
課題概要一覧

部門	会場	課題の概要および競技時間	課題・採点基準の公開	連絡事項	選手定員
機械製図 CAD	科学技術高校	組立図より部品を抽出し、CADで図面を作成してプリントアウトする。	課題：非公開	(1)会場PCはInventerとAutoCADが使用可能。 (2)上位2名までを若年者大会へ推薦する。(ただし各校1名まで)	18名 ただし各校3名まで (各校出場選手の優先順位をつけていただく。人数調整の場合有。)
電子回路 組立て	工科短期大学校 沼津キャンパス	若年者ものづくり競技大会の作業要素に準じた課題を出題する。	事前課題は公開 当日課題および採点基準は非公開 時期：12月中	(1)入手可能な基盤で若年者ものづくり競技大会に準じた課題とする。 (2)上位数名までを若年者大会へ推薦する(ただし各校1名まで)。また、高校生については上位入賞しても(注1)の規定により若年者大会へは出場できない。 (3)参加人数比率は各校にて打合せする。	最大10名 ただし各校5名まで
ITネットワークシステム 管理	工科短期大学校 沼津キャンパス	ITネットワークシステム管理2021年度若年者ものづくり競技大会の作業要素に準じた課題を出題する。	課題：非公開	(1)上位数名までを若年者大会へ推薦する。(ただし各校1名まで) (予定)	12名 (各校3名まで) 4名以上希望校は各校で事前調整
配管	工科短期大学校 静岡キャンパス	「令和2年度 2級建築配管課題」	課題：公開 内容：課題のみ	(1)上位大会はない。 (2)別日程(1月14日)で開催する。	22名
旋盤	工科短期大学校 静岡キャンパス	課題図に従い、2個の未加工の鋼材丸棒を持参したバイト等で切削し、オス・メス2つの部品に仕上げ、寸法精度、組付精度、見た目の美しさ等を競う。 加工として、外径は段、テーパ、溝、ネジ、偏芯、ローレット加工、内径は段、テーパ、偏芯加工を行う。	課題：非公開	(1)上位数名までを若年者大会へ推薦する。(ただし、各校1名まで) また、高校生については上位入賞しても(注1)の規定により若年者大会へは出場できない。	最大15名 (状況により変更有)
フライス盤	工科短期大学校 静岡キャンパス	課題図に従い、2個の未加工の鋼材を、正面フライス、エンドミル等の切削工具を使用して加工する。六面体加工、直溝加工、勾配加工を行い組み合わさる2つの部品に仕上げる。仕上げた2つの部品の寸法精度、組付精度や外観の美しさ等を競う。	課題：非公開	(1)競技で使用使用するフライス盤は静岡鉄工所のSV-w II。 (2)上位数名までを若年者大会へ推薦する。(ただし各校1名まで)	最大10名 ただし各校1名まで
電気工事	工科短期大学校 静岡キャンパス	全国大会の課題に向けて、その技術技能の基礎力を競う課題。	課題：公開 内容：課題、採点基準 時期：10/25 各校へ通知	(1)工具の制限はしない。(ただしレーザー不可) (2)競技時間は75分、打ち切り90分。 (3)治具テンプレートはA4判2枚の大きさ以内。 (4)事前に用意した目用紙の持ち込み不可。 (5)スケールの穴あけは1個のみ1つの穴を認める。 (6)スケールの課題の指定寸法の目印を付けたものは不可。 (7)高校生の1位、2位は東海大会へ。	最大10名 ただし各校1名まで
建築大工	浜松技術専門学校	課題図に従い、木造小屋組の一部を製作し、その技術・技能を競う課題。	課題のみ公開	(1)競技課題は随時配布。 (2)上位数名までを若年者大会へ推薦する。(ただし各校1名まで) また、この部門は高校生ものづくりコンテストの木材加工に該当するため、高校生が上位入賞しても(注1)の規定により若年者大会には出場できない。	最大10名(各校2名まで) 3名以上の希望校は、追加募集に限り人数調整有り
グラフィック デザイン	静岡デザイン専門学校	若年者ものづくり競技大会の課題に準じた課題とする。技術・技能要素については一部簡素化し、一般的なグラフィックデザイナーに求められる技術要素で構成される課題とする。	課題：関係者のみ公開 内容：課題、採点基準 時期：前日の昼	(1)参加資格は生年月日が平成13年4月2日以降であること。 (2)2位までを若年者大会へ推薦する。	最大18名

(注1)若年者ものづくり競技大会の開催部門の内、東海地区実施部門と重なるもの(旋盤、電気工事、電子回路組立て、建築大工(木材加工)の4部門)については、高校生が出場するには全国工業高等学校長協会(全工協)の推薦が必要となる。この推薦は前年度東海地区大会で優勝した県に与えられるため、仮に今回の県予選で高校生が上位入賞しても、若年者ものづくり競技大会へは出場できない。

(注2)若年者ものづくり競技大会の県代表は原則として、推薦された者の中から各部門(職種)1人が選ばれる。全国大会の参加状況によって複数名の出場が可能な部門もある。また、場合によっては例年複数人出場していた部門(職種)が、参加者が増えたために各県1人に減らされる部門もある。このような理由から、「何位まで出場する」等の明言はできない。複数名の選手を選ぶ場合は、2人目の出場が可能かどうか、年齢制限、1校1代表等について慎重に吟味され決定される。